

支援金額  
6,696,620円  
エベレスト街道での植林  
**2,000本**

## 海外



### 5 プロジェクト

環境保全と経済的自立の両立へ。  
エコ基金の想いが、  
現地の力になっています。

支援金額  
1,116,138円  
マングローブの植林  
**12,493本**

### 2 キリバス共和国

#### 南太平洋諸国支援

特定非営利活動法人  
国際マングローブ生態系協会 (ISME)  
日本からの渡航が困難な  
なか、現地の青年たちで  
植林チームを結成。  
目標を上回る植林が実現。



キリバス共和国でマングローブの植林に参加している若者たち

マングローブの植林により、  
キリバス共和国の海洋侵食の抑制と  
CO<sub>2</sub>削減に貢献したいので、  
今後ともよろしくお願いします。

### 1 ネパール

#### 野口健 ヒマラヤに森をつくろう

認定特定非営利活動法人 ピーク・アイド

ネパールサマ村での活動も今年で8年目。  
ネパールでの植林は、  
100,000本をめざしてがんばります！



写真左より、  
ツアオン・ギャルミさん、  
ビヘーム・ラジャ・ライさん、  
バサン・ダワ・シェルバさん、  
ビル・バートル・ラマさん、  
テンジン・ノルブ・ラマさん



#### 新たにエベレスト街道での 活動をスタート！ 村人たちが力を合わせて 苗木を植林しました。

ネパールのサマ村で長年取り組んできた森林再生のための活動経験を活かし、2022年度からは緑豊かなエベレスト街道を取り戻す活動が加わりました。この地では観光客や登山客の寄付金にも支えられて植林活動が続けられてきましたが、コロナ禍で登山客が減少したことが影響して以前のような規模での継続が困難になっていたため、実施団体が協力して活動を進めていくことになりました。4月にネパール入りした野口健さんと現地スタッフとの念入りな打ち合わせを経て、6月にはさっそく25名の村人たちがモミヤシラカバの苗木を植林しました。また、活動団体のロゴ入りTシャツを着用したスタッフが、住民や自治体に植林の意義を理解してもらう活動にも取り組んでいます。

### 4 ソロモン諸島

#### 熱帯雨林保全

特定非営利活動法人  
パシフィックガーデン

ソロモン産カカオ豆を  
使った商品を、沖縄の  
アンテナショップで販売。  
ワークショップも開催  
して、活動を広めています。



エコ基金会員の皆さまへ。  
いつもご支援ありがとうございます。  
試みの学校は少しずつできることを増やして、  
今年は初めてソロモン産のチョコレートができました。

ジョンさん、マイケルさん、学校がある村の皆さま

支援金額  
7,775,000円  
職業訓練校の卒業生  
**105名**



### 3 パプアニューギニア

#### 熱帯雨林保全

公益財団法人 オイスカ

定置型有機農業をさらに  
進めるため、竹の葉や鶏糞  
などを使った肥料を開発。  
稲作栽培も定着し収穫も  
増えつつあります。



“生命に満ち溢れた地球をめざして”、  
パプアニューギニアでの活動へ  
のご支援どうもありがとうございます！

荏原 美知勝さん



### 5 フィリピン

#### 異常気象に負けない森づくり

公益財団法人 オイスカ



#### チークやナラなど火災に強い木々を植林し、 豊かな熱帯林を少しずつ再生。 地道な活動により、州政府から感謝状をいただきました。

ここルソン島中部に位置するヌエバビスカヤ州は、かつては緑豊かな熱帯林がありました。しかし、大々的な森林伐採や山火事などによって、見渡す限り大地がむき出しの状態に。近年は森林の貯水能力が失われてしまい、雨季には洪水、乾季には水不足に悩まされ続けています。2022年度は、樹木に含まれる水分量が多くて火災に強いといわれるチークやナラなどを2,450本植林したほか、下草刈りなどのメンテナンスに励みました。ほどよい雨に恵まれ、苗木の生存率は90%という高い結果を残せました。また地域住民が防災林の管理について理解を深めるセミナーも実施。さまざまな活動が認められ、ヌエバビスカヤ州政府より感謝状をいただくことができました。



マリオ・ロベスさん(後列右から1人目)と現地スタッフの皆さま

乾季に発生する山火事から守るため、  
地元種や耐火性の高い樹種を植えることで、  
荒廃した森林を再生しています。  
これからもご支援よろしくお願いします。

支援金額  
6,451,996円  
災害リスクの  
高いエリアへの植林  
**2,450本**